

第148回 東葛しぜん観察会

虫ってスゴイ！～暮らししぶりをみてみよう～

高野満里子（鎌ヶ谷市）

日 時：2018年6月3日（日）9時40分～12時 天気：晴れ

場 所：船橋県民の森（船橋市）

参加者：一般27名、（大人15名・子ども12名）指導員13名

担当指導員：田島正子・林信子・高野満里子

梅雨入り前の晴天の一日を3班体制で、森の中で虫たちの暮らししぶりみてみようと探索しました。先ず、最初は虫の少ない季節の為にクヌギの木に巻いていた‘こも巻き’を開けてみました。真っ黒いヤマトゴキブリが2匹も居てびっくり！ヤスデやクモ・バイオリンケースのようなミノに入っているマダラマルハヒロズコガ・アリなどたくさんの虫が隠っていました。次は、土壤動物の探索です。落ち葉が土になる事を簡単に説明してシャベルで土を探り、ふるいで小さい虫を落として、土の中にも小さい虫がたくさん居て、森の葉っぱを分解して土を作っている事を解ってもらいました。林道を歩いていて樹名板をめくると、裏にゴキブリと同居していたコクワガタを発見！子ども達はクワガタやカブトムシが大好きです。森を抜けて明るい草はらにはセイタカアワダチソウが群落を作っています。その茎にはたくさんのアブラムシが付いていて、下見ではちょうど仔虫を産んでいるのも見ました。メスだけでどんどん増えて、秋になるとオスがでてきて交尾し、卵で越冬するなどの話をしました。池では湧水の水が少ないながらも一年中出ているのでオニヤンマのヤゴが生息しています。大きいヤゴが居ましたので、下唇（アゴ）の作りなどを見てもらい、餌の捕り方を説明しました。

運動広場ではたくさんのバッタの幼虫が飛び跳ねていています。皆さん大人の参加者の方も童心に帰ってバッタ採りに興じていました。採った虫はプラカップに入れて生態系ピラミッドの絵の上に並べてもらい、生き物のつながりなどについて見てもらいました。内容が濃く、たくさんあり、抜けてしまった所などを班についていただいた草野さん・新堀さん・西池さんに助けていただきました。また、この企画をしていただいた田島さん、一緒に担当した林さんにもいろいろ教えていただき、新しい発見がたくさんありました。



池でオニヤンマのヤゴを発見、何を食べて大きくなる？



生態系ピラミッドで生き物の繋がりの話し